Hachioji MAIL NEWS
輸送サービス労組八王子地本
2025.09.05
No.027

2025 年 9 月 4 日開催

八地申第１号

団体交渉

JR東日本グループで働く社員の“命”を熱中症から守るため、「安全な労働環境の確保」と「迅速かつ適切な初期対応」を求める緊急申し入れ

その①

1. 熱中症から社員の“命”を守る「安全な労働環境の確保」のために支社が実施していることを具体的に示すこと。

回答：労働安全衛生規則の一部改正については、「本安第 26 号 労働安全衛生規則の一部改正を受けた「熱中症」発症時の対応について(連絡)」（2025 年 5 月 9 日）により周知を行っているところである。また、「本人第 397 号 熱中症対策の徹底について(連絡)」(2025 年 7 月 11 日）に基づき、「塩タブレット(飴)」、「冷却パック」、「冷感ミスト」等の配備、点呼時に、業務中の水分・塩分補給の励行、体調管理の徹底を伝えている。
なお、夏季における働きやすさの向上及び熱中症対策の観点から、「本人第 1233 号 ファン付きウェアの貸与について(連絡)」（2025 年 3 月 26 日)に基づき、希望者に対してはファン付きウェアを貸与している。

下線部の文書が交渉時に別途手交され、交渉を開始――

組合	会社
● 配備品は職場ごとの判断で決めているのか？	➢ 職場の判断で決めている。また、安全衛生委員会の場で出された声を基に配備したものもある。
● 安全衛生委員会ではどんな声が出ていたのか？	➢ 一例だが、塩タブレットの早期配備や除草作業時に休憩時間を意識すること等だ。
● 社員が利用する設備面で講じた対策は？	➢ 一部箇所では大型ファンを更衣室に設置している。
● 早朝に入区した車両を夕方に出区させる際に事前に冷房を投入することは？　またその意見は？	➢ 特にしていない。意見は出ていない。
● 車両部門は熱がこもる場所での作業が多い。ハード面での改善策は？	➢ 屋根の設置を行う予定はない。支社の主管ではないが、現場判断で通常作業の順序やタイミングを調整して休憩をこまめに取っている職場がある。
● 作業量の調整は支社の判断でしているのか？	➢ 作業調整は支社の主管ではない。だが職場では通常作業を調整し、休憩を小まめに取っていると聞く。
● WBGT 値を計測する機器は職場に配備しているのか？	➢ 特にない。目安値を測定する＝作業中止とはならない。熱中症警戒アラートは最高気温を鑑みて除草実施可否を判断していると聞く。

出てくるのは「対策」ではなく「対処」ばかり…。
全社的な対策はファン付きウェアだけ（それも一部部品は共用）
職場の声に基づき、主管部が対策しない姿勢が明らかに！

つづく